
二百文字詩集「コトダマのざわめき」

那音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「一百文字詩集」「トドラマのざわめき」

【著者】

Z4052Y

【作者名】

那音

【あらすじ】

今日もコトドラマが響きます。

あなたを愛しているから

あなたがいて、その隣に僕がいる。

当たり前かもしれないけど、これがすこく幸せだと思つ。

一人きりでは生きられない弱い人間の僕は、こんなにも愛しい人に出会うことができた。

それは、計り知れない奇跡。

何も言わなくとも、あなたのことが手にとるよう手に判るから、きっとそういう運命なんだね。

言葉にしたら嘘になってしまいそいだけど、僕はあなたと出会えて幸せなんだ。

もっと近くにいれるよう、もっとあなたを知りたいんだ。

こつまでも

こつだつて一緒にこれるよつこ、ボクの中に強くキリを残さう。
こつだつて思い出せるよつこ、キリを強く覚えてこよつ。
死んだからこつれられらる程度にキリのこと好きだつた詠じやない。

カタチはビうあれ、ボクたちは永遠を手に入れたんじよつ。
だから、がんばつて思い出すよ。

こくのくじやくじやの泣き顔を笑顔に変えてしまひ、キリの声を。
あつとあぐに笑つてみせるから。

キリがこなくとも大丈夫なよつこ、強くなつてみせるから。

「つまく笑おう」としないでも

「つまく笑おう」としないでも、さみが笑えばそれだけで空が晴れて
「くわうだよ。

まるで世界中の幸せを「ここに」集めたよつた、そんな感じ。

なんだかね、見ているだけで心がすつきつするんだ。

苦しことも、辛いとも、何度も思い出しては歩みを進めてきたんだよ。

「つまく笑おう」としないでも、さみは「と輝いて」るよ。

そんな小さなことでも、わっと大きな声で語りたい。

「つまく笑えなくてても、夢はどこかに行つたりしないから。

えつとね、

ボクにはもうわからないんだ。

キミが好きゅざい、なにが正しいか正しくないかがわからない。

つまく言葉にじきとも、それは当たり前のこじド。

ボクがキミをどんなに好きかは、案外伝わつたりしない。
まるでやりがいのあるゲームみたいに、いつまでたつても進みや
しない。

だけど、きつと無駄じやないと思つんだ。

……えつとね、キミが大好きなんだ。

今日は、それが言えればいいや。

じゃあね、また明日。

明日はつまく言へるとこにな。

おしゃれ

君にいじわるなことを言った。

君がおかしな顔をした。

ボクはちょっと残念になつて、君に話しかけ続けた。

好きになるのは罪なの？

だつたら、好きになつてもらえないのは罰なの？

会いたいと思つのは罪なの？

だつたら、会えないのは罰なの？

それとも、おしゃれとかいつ温いものなの？

だめだよ。

君に会えないのはいやだけど、君がいやな顔するのはもつといこや。

だから、ボクは黙つて、おしゃれを吸け入れるよ。

大丈夫、心配ないからね。

かそえきれない

今日また、きみがすてきだと思つた。

これでもう何度目だらうね。

今日また、きみがかわいいと思つた。

これでもう何度目だらうね。

別れはいつも突然だけど、そんなのあまり関係ない。

どんなに離れていても、すぐそばにいるよくな安全感。

きみがくれた言葉のぬくもりは、まだ冷めてないよ。

今日また寂しいと思つた。

これでもう何度目だらうね。

今日また泣きたくなつた。

思いつきり泣いてみた。

初めて泣いてみた。

静かに心が揺れたよ。

さみのさむせりせむからなこの。元

さつとボクだけは、さみを喜ばせることがでれると想い込んでた。

どんなにひどいと嘗つたって、笑えば許してくれると想つてた。

ボクだけがさみの理解者でござつた。

さみのさむちもわからなこの。元

さみが初めて泣いたとき、ボクの胸に稻妻が走った。

その痛みを盾にして、涙を見ない振りした。

さつとつまく笑えると思い込んでた。

さみも笑うと思い込んでた。

さみのさむちもわからなこの。元

ボクのさむちはかわらなこの。元

へじびき

あたり。はずれ。あたり。はずれ。あたり。あたり。あたり。

「はずれの人たちで、今日の放課後お掃除してね」。

先生はゆうくつ言つた。

俯くと、手のひらにははずれくじ。

友人はそつと同情したけど、同情するのはボクがきみにだら。

教室掃除のお相手は、みんなの憧れかわいいあの娘。

はずれくじなんてとんでもない。

なによりの宝物だつたよ。

おおあたり。

このチャンスに、目一杯あの娘にアピールするんだ。

自然に「すき」って言えるよつ。

けつひつ本氣なんだぜ。

「冗談ぽく聞こえるのは、案外照れ隠しだつたりするんだぜ。

そんな薄っぺらじと書くのは、案外苦手なんだぜ。

うまくいかないけど、けつひつ本氣なんだぜ。

キミが好きだ。これ以上ないくらいだ。

世界で一番好き。

「冗談ぽく聞こえるのは、案外照れ隠しだつたりするんだぜ。

好きって簡単には止まらない感情。

笑えるかななんてその時次第だから、いちいち悩むのはアホらしい。

だからまつすぐ聞くよつ。

ずっと、キミのじと、好きなんだ。

「こころが揺れた。」

ふとした瞬間に、ふわり、こころが揺れた。

見慣れているはずの君の横顔なのに。

君ってこんな表情もできるんだって、きづいた。

そのとき、こころが揺れたよ。

固く閉ざしていた、ちっぽけなこころが揺れた。

なんだかね、こつもと違うの。

「好き」ってのとはちょっと違つ。

それよりも、見てて和む、そんな感じ。

ねえ、これも「好き」ってことなのかな？

よくわかんないや。不思議だね。

大人になつたらわかるのかな。

ねえ、教えてよ

れぬところ。

クヨクヨしたって時間の無駄。

十年後に、絶対後悔するってー

今日明日のこと覚えるない、思いきって即行動！

最初は誰も臆病なだけや。

だいじょうぶ、やつとつまへこへつて。

イメージできたない、やあ行こい。

ヤハリ手招きをしてるのよ、やつと明るい未来だから。

前だけを見るのが不安になつたら、いつでも振り返つて戻いから。

だから、勇氣を出して一歩進んでみよつよ。

きて景色がやしきくなれるわ。

悩むへりこなひ、やあ行こい。

じょうがなことを言い訳ひかねるな

「最近じつも鬱ト悪一」。

だから?

「じょうがなー」?

いつも考てるなら、一生うまくなんていかないだらうね。

じょうがなーを言い訳にする、自分も周りも納得しちゃうかも
しれない。

だけど、それって結局進歩しないじゃん。

だから、おまえに伝えておく。

未来の、そして過去の俺。

よく聞け、覚えておけ。

じょうがなーを言い訳にするな。

そんなこと言つてると、反省しない。進歩しない。

なあ、わかるだろ。

気づけたら、勝ちだ。

あきの理由なんて

だいたい、そんなこと言つたら嘘つぱくなつたりやうよ。

あることないことに蝶り散らすよりは、謙虚に誠実に正直にな。

キミが笑えば万事解決、損得勘定も関係ない。

だつて、ボクにとつてそれだけがすべてだから。

なにもないはずの心こゝ、芽生えてたんだ。いつの間にか。

キミならわかるでしょ。

理由なんて知らない。理由なんていらない。

事実を理解できればいいんだから。

強いて言つなら、キミがいるから。

すきの理由なんて、そんなもん。

せのびなんかしないこと

ちょっと遠くを見るためだけにせのびしあわっていいのかい。

来た道も振り返れないのに、もう先ばかり見てるのかい。

なんなんだうね、よくわからないうべ。

いいことがあったら、それはきっと君の努力のお陰だる。

だったら、せのびなんかしないでさ、真っ直ぐすすんでみるよ。

すぐになにもかもできるわけじゃないから、今しかできなこと
ひとつあるだる。

だつたらまずそれをしよひよ。

心配しなくとも、失敗しないから。

大丈夫。

やっぱここから

そんなこと言えたらなんて楽だわ！」。

かっこいいとか、そんな感じじゃないけど。

やっぱ、誰かも言つた気がする。

本当に勘しことに恥ずかしげもなく言えるのが悪だ。愛だ。

そんなのわかつてない。だから上の言葉だ。

表情とは違つ形で愛を伝えるのが言葉だ。

やっぱここから。それだけで君が笑つなら嘘なんてつけない。

やっぱここらへんかい。嘘じゃない。やっぱここら。

なにがあつても、ずっと。

だつて君が好きだから。

たびにでもでねばいこじゃん。

大つ嫌いで、大好きなもの。

全部知つてゐつもりで、なにも知らないもの。

自分自身がクヨクヨするようなときは、なんだか周りはフキゲン
だつたりする。

自分探しとか、かつこつけんなよ。

別に誰も止めようとはしない。

たびにでもでねばいいじゃん。

そして、必ず大きなタカラモノを持ち帰つてくるんだ。

周りの声に左右されるような、器用な思考回路持つてないんなら
れ。

たくさん泣いて、たくさん笑つて。

それができりや、儲けもん。

ちがうなにか

朝陽が昇れば、なにか変わらぬかな。

月を憂いでいるだけじゃ、なにも変わりそうにないね。

だつて、暗い気持ちだけしか伝わらないよ。

笑顔の意味を忘れて、泣きやいいと思い込んでる。ちがう?

明日になつたらとか、うまくこつたらとか。

そんなんじゃなくて、ちがうなにか。

もつとあつたかくて、もつて照れくさくて。

もつとやせじへい、もつと きみじこじ。

ちがうなにか。案外それは、意外にもすぐ近くにあつたりするんだ。

つかれてる？

最近、あんまり笑わなくなつたね。

なんでだろ？ あんなに素敵な笑顔だつたのに。

ねえ、大丈夫？ ちゃんと眠れてる？

そつちがそんなにしぶんでも、なんだかこつちまで悲しくなつ
ちやうよ。

つかれたらなら、無理しなくていいからね。

休みたければ、休んじゃえればいいよ。

体壊したら、余計に笑えないよ。

どうせ無理するなら、無理して笑えよ。

つかれたときには、笑うのが一番だつて。

ゆつくり休んでね。

明日にまた笑えるようじ。

てのひみつも

ボクは黙つて差し出した。
キミも黙つて握り返した。

少しだけ汗ばんでるけど、キミが隠したがってる。
だから、知らんぷりで鼻頭をつたう。

キミの鼓動はなんか早くて、つられてボクのも早くなるよ。
右手と左手は仲良く、でもまだ皿は合わせられない。

キミがクスクス笑つたから、ボクはニヤニヤ笑つてみる。
なんでもないことのよつたな気がして、忘れまいと強く手を握つた。

ボクのくちびるは、まだキミのくちびるをおぼえているから。

たといえば笑うだけで心は晴れる。
たといえば泣くだけで心は腫れる。

細かいこと気にしそぎだつて。

そんなことないだる、ぜんぶだいじないと。

心が痛むなら傍にこよいつ。

できるだけ君のすぐ傍に。

慰めてや、励ましてや、そして最後に笑えりやいいじやんか。

今更なんて、ボクと君はずつとずつと近づます。

やつぱりやつだね。

君が笑つてんの見ると、ムツとなんてしてられない。

ともだちなら。

ともだちだから。

ともだちじやん。

ともだちだる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4052y/>

二百文字詩集「コトダマのざわめき」

2011年11月29日21時54分発行